

# 新名神高速道路（兵庫県）事業状況

兵庫県 事業延長L=21Km



地元の皆さんのご協力をいただきながら工事を進めます。

### 神戸ジャンクション工事

神戸ジャンクションにおいて、山陽自動車道との接続部分の工事を行うために中国自動車道本線の下り線を一時的に外側に切り替える準備をしています。写真右側は、今年2月に改築し供用したランプです。今後も本線規制を実施しながらの施工を予定しています。

### 生野西工事（工事用道路）

新名神高速道路の工事を行うために一般道路から本線工事現場までの取り付け道路などを整備しています。完成後は資材運搬路や土の運搬路として使用する予定にしています。

### 武庫川橋工事

二級河川武庫川を横過する橋梁工事です。写真は、河川内に構築する橋脚の工事を行っている状況で、今年の非出水期において、河川内の基礎工事などを完成させる予定です。施工の期間が限られている中の作業が続きますが、柱部の構築に向けて日々、進捗しています。

### 川下川橋工事

川下川ダムの下流部に構築している橋長300mの橋梁です。現在、最も高い橋脚から両側に約30m程度張り出しをして橋桁を施工しており、今後は最長110mまで張り出す予定です。4月からは写真左側の橋脚上でも同様な張り出し施工を行っていきます。

### 切畑トンネル工事

川下川ダムの東側に建設している宝塚SA（仮称）予定地の現場状況です。この場所には他の工事区域から約350万m<sup>3</sup>の土を受け入れ、盛土を行う計画にしています。現在、立木伐採が完了し、盛土を行う前の地下排水設備や調整池の整備に着手しています。

### 猪瀬工事（工事用道路）

新名神高速道路の工事用道路として使用する予定地の現場状況です。この場所には他の工事区域から約350万m<sup>3</sup>の土を受け入れ、盛土を行う計画にしています。写真の橋脚は、県道切畑猪名川線の隣接している為、先行施工をしている新名神高速道路の本線橋です。

## 新名神高速道路 現場の声（第3回）

～ 猪名川東工事 現場代理人 中川氏と猪名川工事長 池田へのインタビュー ～

第3回の『新名神高速道路 現場の声』今回は、「猪名川東工事」現場代理人の中川氏と、NEXCO西日本 兵庫県事務所 猪名川工事区 工事長の池田に猪名川東工事の状況などについてお聞きします。

Q：猪名川東工事の内容と現在の状況を教えてください。

（池田）本工事は、新名神高速道路が通過する猪名川町域東側の高速道路・付替町道・付替河川等を造成する工事で、切盛土：約200万m<sup>3</sup>、橋脚・橋台34基、トンネル（上下線）700mを施工する大規模工事です。現在、広根地区においては、用地契約をさせていた場所から先行して埋蔵文化財発掘調査を行っており、調査終了後、順次、工事に着手しています。また、猪瀬地区では、先行着手しております県道切畑猪名川線の改良工事に続き、坂本川の付替等の周辺整備工事に着手していき予定です。

（中川）現在、現場着手するための準備をしているところで、先日、地元の方々に工事の説明をさせて頂きました。今年度から本格的に現場着手を行い、しゅん功までの約4年間、近隣住民の皆様のご意見やご要望を現場に反映させながら、工事によるご迷惑が最小限となるよう工事を進めていきたいと考えています。



猪名川工事長 池田

Q：猪名川東工事で気をつけているところ、難しいところは？

（池田）本工事は、小学校や病院、住宅街の周辺で工事を行うことになります。まずは、事業にご理解いただき沿線住民の方々へ十分な説明を行いながら、工事を進めていきたいと考えております。

（中川）本工事で最も留意すべき点は、盛土工事における近隣住民の皆様への粉塵等の抑制、環境保全対策、第三者災害の防止であると強く認識しております。このことを踏まえ「沿線住民への十分な配慮、無事故・無災害」を目標として掲げ、施工業者として全員で意識の統一を図ります。特に一般の方が通行される場所では、地元車輛を最優先にして、安全な工事車輛の運行管理に努めます。また、本工事で、高速道路事業に関連して、猪瀬川の大规模な付替河川工事も行います。この工事に際し、県道川西篠山線の一部を橋梁化する計画ですので、工事期間中、現在の県道川西篠山線の迂回道路を通行していただくことになります。

Q：県道川西篠山線を迂回させる時、交通に支障はありませんか？

（池田）現在の計画では、約1年間、迂回の道路を通行していただく形を予定しております。迂回道の造成にあたっては、現交通に影響のないような計画を立案するとともに、道路を利用される皆様へ十分な広報、周知を行っていくこととしています。また、県道川西篠山線は小中学生の通学路にもなっていますので、とにかく一般通行車輛を含め「第三者最優先」を念頭において施工を進めたいと考えております。現場着手前には関係者との十分な調整を行い、安全面に十分配慮いたします。

Q：猪名川東工事の独自の取組はありますか？

（池田）一番は工事区域に隣接する周辺施設、住宅街への配慮です。独自の取組として現場の見える化を推進してまいります。工事で発生する騒音、振動を計測しモニタリングを行います。現場で作業される方にも気を使って工事していただくよう特定建設作業に関する規制値を超過した場合、すぐに工事を中断し原因究明、対策を講じ作業再開といった取組みを行いたいと考えています。あと、工事に先立ち行っています埋蔵文化財発掘調査に関しまして、引き続き委託先である兵庫県と連携して、現地見学会を開催していきたいと思っています。



広根地区埋蔵文化財発掘調査 つつが丘小学生 見学会（H24.1.31）



現場代理人 中川氏

（中川）この工事は受入土を中心とした大規模盛土工事であり、多量の土を受け入れても確実な品質確保が出来るようにGPSを利用した盛土転圧管理を行っていきます。橋梁、トンネル工事においても様々な取り組みを行う予定にしていますが、最終的にはエンドユーザーである高速道路利用者の方々へ安全で快適にご利用いただけるものをつくるのが、我々ものづくりに携わる者の使命と考え、職員、作業員全員がベクトルを合わせて努力して参ります。平成24年3月30日（金）には、関係者の皆様にご出席頂き、工事の安全祈願祭をとり行い関係者一同、無事故・無災害で工事を完成できるよう祈願しました。今後も、多方面の方々のご指導、ご鞭撻をいただき頑張っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



しんめちゃん  
 新名神高速道路  
 マスコットキャラクター